



鳴子ダム水源地域ビジョン 第2回策定委員会資料

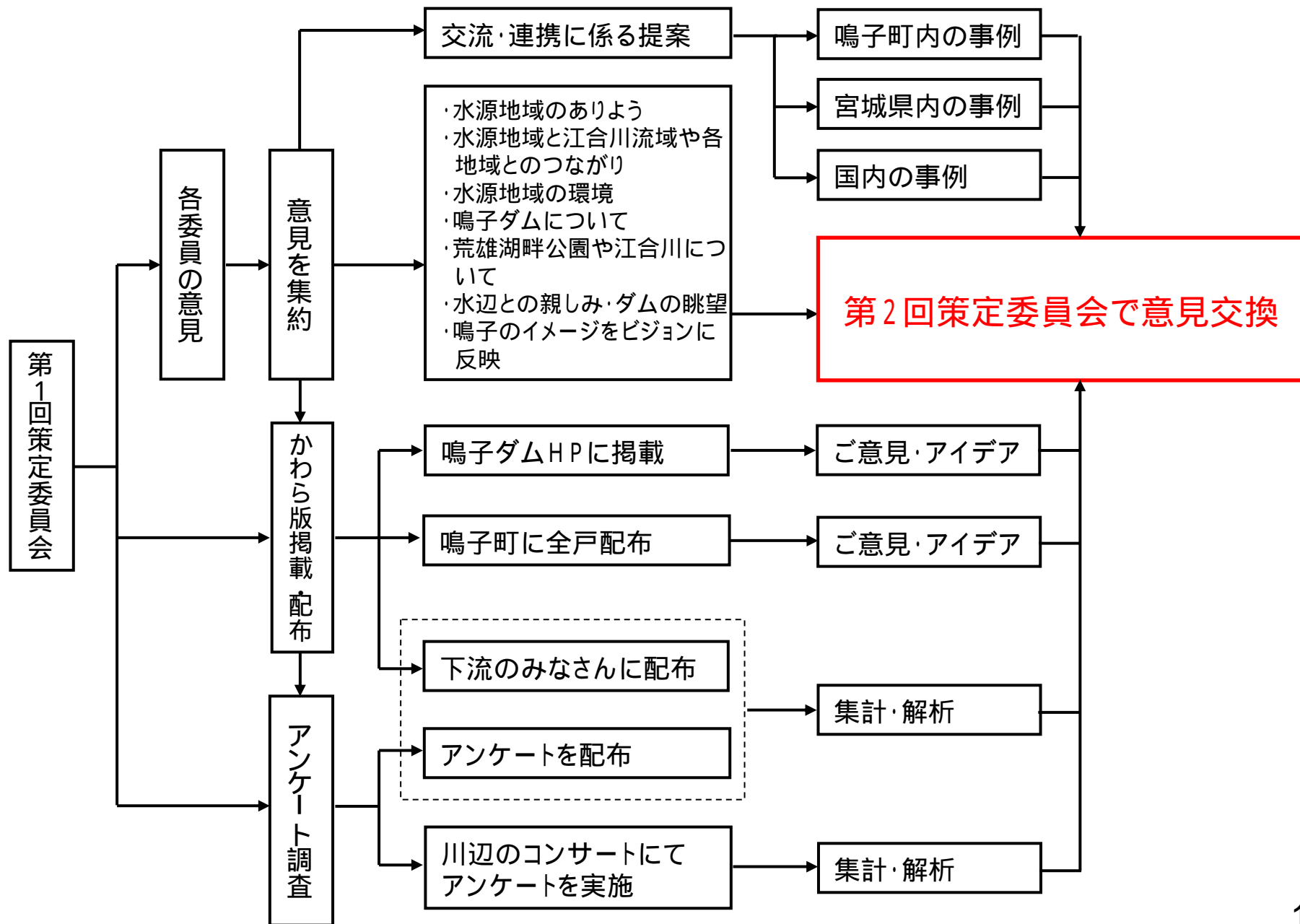


平成17年3月23日（水）

資料 - 1 鳴子ダム水源地域ビジョンの経過報告
及び方向性について



第2回策定委員会の議事進行について



事例にみる「交流と連携」

交流と連携の形態

交流と連携の形態には、以下のような形態がみられる。

- 「一定のエリアを形成している交流・連携」
- 「軸状になった交流・連携」
- 「点と点の交流・連携」

交流と連携のきっかけ

交流と連携は、停滞する地域経済、人口減少や高齢化等に伴う地域活力の低下を食い止めるために、隣接、沿線、流域、圏域等の括りの中で複数の市町村が交流・連携して地域活性化を図ることを目的としている。

特に、交通網や河川流域、共通資源などをきっかけとして交流・連携する括りが形成され、共同で様々な事業展開が行われている。

交流と連携事業

交流と連携の熟度や対象によっても異なるが、多くは以下のような事業を行っているところが多い。

- 写真コンテスト(北の星座)
 - インターネット普及事業(北の星座、越前・加賀)
 - 地域会員募集(北の星座)
 - サミット、フォーラム(越前・加賀、黒部川)
 - パンフレット作成(越前・加賀)
 - 旅行雑誌掲載(イーハトーブ岩手)
 - スタンプラリー(北の星座)
 - ミュージカル(黒部川)
 - コンサート(黒部川)
 - バスツアー(越前・加賀)
- 赤書きは鳴子町でも実践
()は資料2参照

交流と連携による効果

- 人的なつながりが広がる
- ビジネスチャンスが生まれる
- 連携意識の醸成が図られる
- 地域の知名度アップ、イメージアップ
- 人材養成・育成

交流と連携の問題・課題

- 事業を行う上での資金調達
- 先導役・事務局等の高齢化
- 事業のマンネリ化
- 官民の協力体制のあり方
- プロジェクトの具現化
- 民間レベルでの交流・連携が進まない
- 若者や女性の参加が少ない
- 地域内における格差(人、物、場所、情報)
- 活性化の柱を見出せない

交流と連携の今後のあり方

- 地域間の連携を密にしていく
- 官民、事務局内、スタッフ・ボランティアの役割分担
- 先導役、事務局等のレベルアップ
- 交流・連携のメリットを最大限に活かす
- 人的交流と物的交流の活性化
- 民間団体のネットワーク化
- 利用者の動向把握
- 地域住民の積極的な参加

事例にみる「地域活性化(ふるさと体験・グリーンツーリズムなど)」

ふるさと体験の形態

ふるさと体験の形態の多くは、グリーンツーリズムを基本に体験・滞在型の形態がほとんどである。

- 「農林漁業体験」
- 「農産加工体験」
- 「各種オーナー制度」
- 「観察・学習」

ふるさと体験のきっかけ

ふるさと体験のきっかけの多くは、「農村のイメージアップ」「減反による減収・高齢化による活力低下から脱却」「観光農業の確立」「資源の有効活用」「地域産業の活性化」「余暇活動に対する都市住民のニーズへの対応」等をきっかけに事業を展開している。

ふるさと体験事業

ふるさと体験事業の多くは以下のような事業を行っているところが多い。()は資料2参照、**赤書き**は鳴子町でも実践

- 農作業体験**(新潟県東頸城郡、福岡県赤村 他)
- 特用**林産物生産体験**(山梨県白州町、山口県むつみ村 他)
- 自然**環境学習**(神奈川県藤野町、愛媛県野村町、他)
- 郷土料理調理実習**(愛媛県久万町、山梨県白州町 他)
- スポーツ体験**(新潟県東頸城郡)
- 自然工房・遊び体験**(新潟県東頸城郡、岩手県花泉町)
- 自然体験プログラム**(新潟県東頸城郡、福岡県赤村 他)
- UIJターンの受け入れ(新潟県東頸城郡、島根県石見町 他)
- 各種オーナー:米、酒、果樹など(山梨県白州町)
- ホームステイ(宮城県若柳町、山梨県白州町 他)

ふるさと体験による効果

地域住民のグリーンツーリズムに対する意識の向上
地域に訪れるリピーターの増加
農産物直売活動への展開
農家起業の増加
定住者の増加
女性の立場向上
生き甲斐
所得機会創出

ふるさと体験の問題・課題

リピーターの定着問題
インストラクターの質の向上
伝達技術の向上
行政の手がかかる
受け入れ側と訪れる側のギャップ
後継者不足
メニューの工夫

ふるさと体験の今後のあり方

地域ぐるみでの活性化を図るためにこれまで以上に住民参加を促す
交流人口の増大、交流から定着、そして永住につなげたい
新しい時代に合致したイベントとして発展させる
単なる観光に留めない“自らの業”として自律させる。
農家や住民の主体的な意思を最大限に活かす。
住民の主体的な参加による持続的で質の高いものに組み立てる。
コーディネート機能を担う専門家集団の活用

第5回川辺のコンサートアンケート調査結果

調査概要

川辺のコンサートとは・・・

北上川の鳴子ダムから江合川、石巻河口までの現在の流域について講演と映像から学ぶイベント。合唱やバンドのコラボレーションも楽しめる。

日時: 2月27日(日) 13:30 ~ 15:30

場所: 石巻市内

主催: 母なる北上川を愛する女性の会

調査方法: 来場者に別紙のアンケート調査を依頼

回答者数: 249名(来場者数約370名)

Q1: 鳴子ダムに行ったことがある (89.2%)

Q2: 鳴子ダムの水が石巻まで流れていることを知っている (36.9%)

Q3: 鳴子ダム水源地域の鬼首に行ったことがある (約50%)

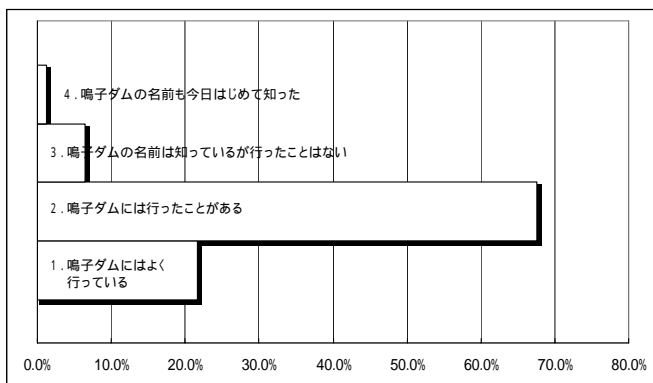
Q4: 鳴子温泉に行ったことがある (95.2%)

Q6: 鳴子ダム水源地域ビジョン策定にあたって(ベスト3)
自然環境の保全に留意すべきだ (42.6%)

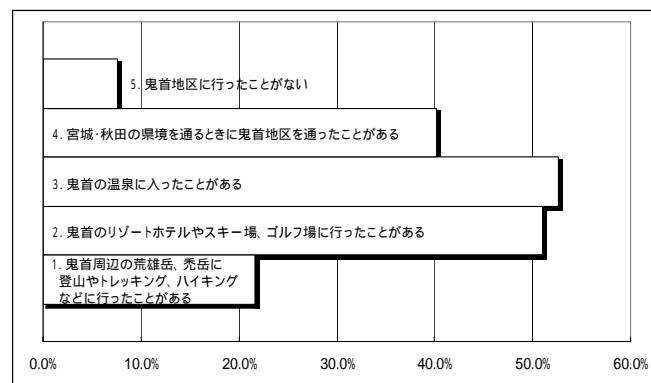
地域の温泉資源を活用した計画づくり (33.7%)

観光、農産物・食加工の地域産業の向上 (29.7%)

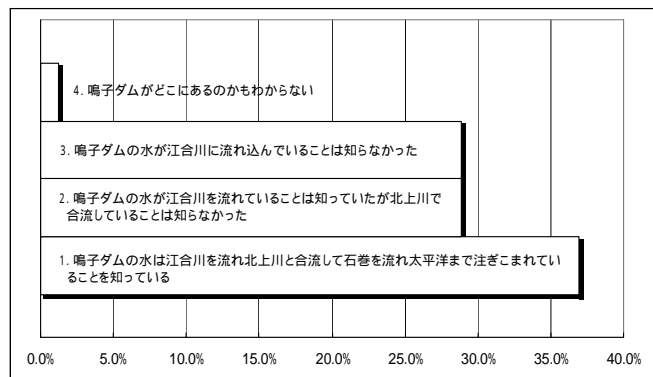
鳴子ダムをご存知ですか



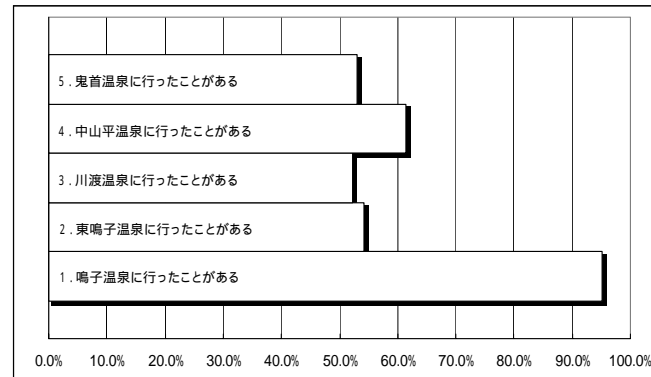
鳴子町や鬼首に・・・



鳴子ダムの水が石巻まで

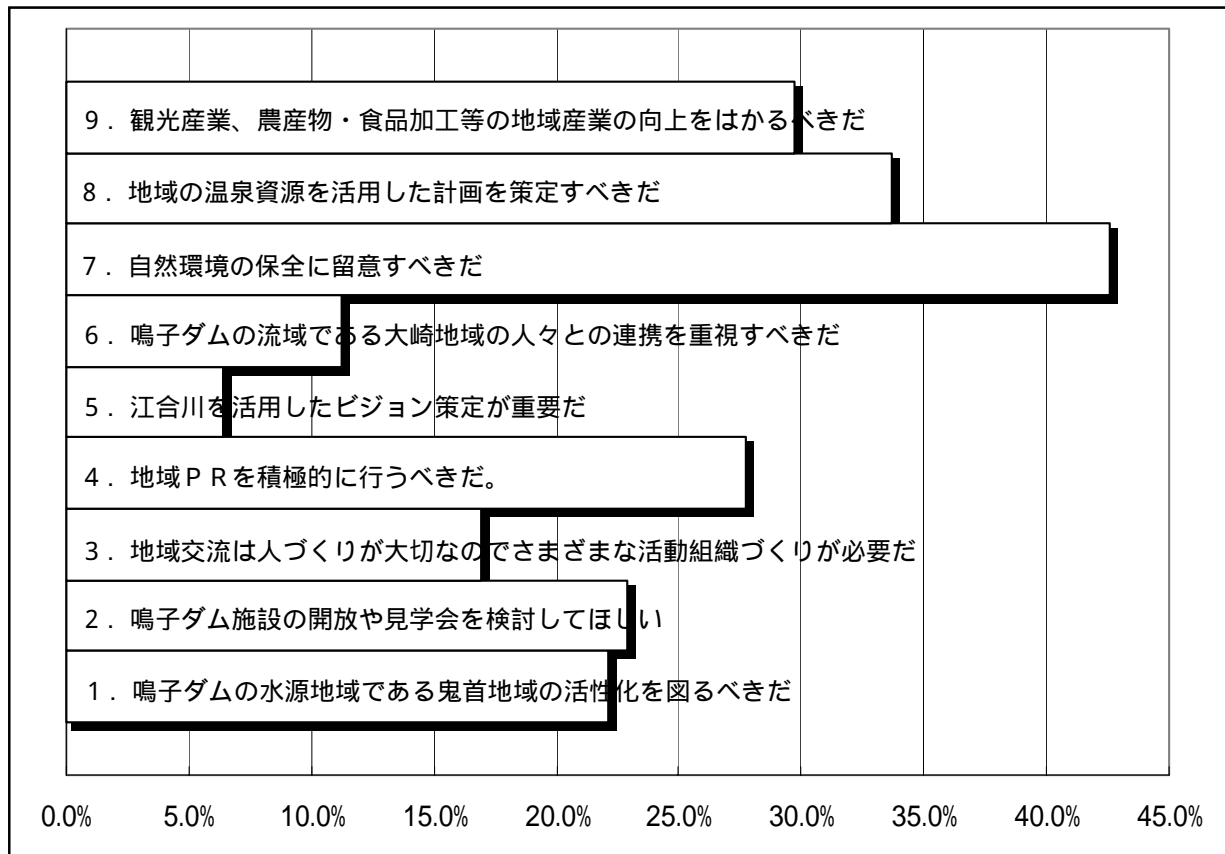


鳴子町内の温泉に・・・



第5回川辺のコンサートアンケート調査結果

鳴子ダム水源地域ビジョンの策定にあたって



水源地域ビジョンの方針(第1回策定委員会のまとめ)

第1回策定委員会での意見	意見の集約
ランドデザインづくり	水源地域のありよう
合併による地域間交流促進	
鬼首地区の活性化	
地域に誇りをもつ	
地域が主体となって	
地域力の向上	
地域をよく知る	
広域観光上での戦略づくり	水源地域と江合川流域や各地域とのつながり
川による連携・合併による連携	
連携・交流のキーワードと地域活動の立ち上げ	
森林資源の再認識	水源地域の環境
自然林の復活	
森林浴・トレッキングなどの環境整備	
ダム役割を再認識	鳴子ダムについて
すだれ放流などのPR	
ダムアーチ構造や土木遺産	
利用しやすい公園に	荒雄湖畔公園や江合川について
オートキャンプなど機能更新	
冬季の活用(雪洞体験)	
釣り人へのサービス向上	
江合川の環境整備(サイクリングロード)	
ダム湖・ダム堤体を眺望できるスポットの整備(湖西道路側からも)	水辺との親しみ・ダムの眺望
水力・地熱発電など環境をテーマに展開	
グリーンツーリズム、温泉医療もキーワードに	鳴子のイメージをビジョンに反映
美味しい蕎麦など地域の食文化の向上	

→ 情報発信・交流

→ 地域づくり

→ 連携・支援

→ 学習

→ 産業振興

→ 自然・環境

→ 基盤づくり

情報発信・交流



地域づくり



連携・支援



学習



産業振興



自然・環境



基盤づくり



地域を元気にする

「鬼首」地区のグランドデザインをしっかりと見すえ、地域の人たちが中心になって「地域づくり」を進めていきます。このため、新「大崎市」の人たちや、江合川流域の人たちが「江合川」つながりの「交流」で「連携」して応援します。さらに既存の資源などをうまく活用して事業化を図り地域振興を進めていきます。

水源地域ビジョンの目的は、水源地域を元気にしていくことです。

新「大崎市」での「鳴子町」や

地域を学習する

鳴子町には、自然環境、人文社会資源をはじめ、「地域らしさ」の資源が多数あります。地域に住む人たちが地域のことをよく知らないと、来訪者との交流もなかなか生まれません。総合学習など、地域内外の学習の場として、地域の資源を、長期的に、将来像を見すえながら活用していきます。

鳴子町には、自然環境、人文社会資源をはじめ、「地域らしさ」の資源が多数あります。

地域に住む人たちが地域のこ

地域の文化を育てる

このため、これまで受け継がれてきた風土や文化をよく学びながら、地域の価値を高め、新たな文化の創造を進めていきます。

地域のひとたちが地域に誇りをもちながら、地域の代表者として地域づくりに取り組む必要があります。

地域の環境を守る

また、町営牧場、水田、畑地などの農地、鬼首地区をはじめとする農村集落など、現在の高い地域価値を維持・継承し、地域の環境を守っていきます。

鳴子町には、自生山の自然杉や鬼首カルデラ地形をはじめとする豊かな自然がたくさんあります。

まちづくりの方針	「まちづくりに」いかせる資源		第1回策定委員会での意見	
	地域の資源など	地域での活動など		
地域づくりによる地域の活性化	鳴子町全域	鳴子温泉郷ツーリズム特区の指定 鳴子温泉郷湯めぐり手形	合併による地域間交流促進 広域観光上での戦略づくり 温泉をアピール	
	鳴子地区	街を歩けば下駄も鳴子		
	鬼首基幹集落センター	学校開放講座パソコン教室	グランドデザインづくり	
		ちびっこ料理教室	鬼首地区の活性化	
		鬼首自然観察隊	川による連携・合併による連携	
		仙台・名取在住の弦楽合奏団(ゲグゲロ・ソリスデン)コンサート	連携・交流のキーワードと地域活動の立ち上げ	
	鳴子町中央公民館(鳴子地区)	第2回グリーン・ツーリズムネットワークみやぎ鳴子大会	連携・交流のキーワードと地域活動の立ち上げ	
		スローライフ週間「湯っくり湯ったり湯たかに」		
		交流人口拡大事業「Visit なるこ」		
	鳴子町ヘルスセンター(鳴子地区)	鳴子ツーリズム講座(講演会)		
	JR陸羽東線	イベント列車SL義経号		
	業おこしによる地域の活性化	鬼首基幹集落センター	曲げわっぱの特別展示、桶細工、つる細工 鬼そば道場蕎麦打ち体験	鬼首地区の活性化
		鬼首の里高原市場	農産物の直売	
		やまが旬の市	農産物の直売	
国民宿舎鬼首ロッジ		農業体験「鬼首・鬼楽里」		
JAいわでやま鳴子りんどう部会の生産地		りんどう生産・出荷		
ほっとサロン(鳴子地区)		一店逸品運動研究会「でっぺクラブ」	地域力の向上	
地域の施設を活用する	オニコウベスキー場・ゴンドラ・ゴルフ場	鳴子牛 cow ニバル		
		スキースクール、蕎麦打ち体験など		
		スノーフェスティバル		
	吹上高原キャンプ場			
	鬼首ペンション村			
	鬼首基幹集落センター	小学生の蕎麦栽培の収穫祭		
地域の環境を活用する	荒雄湖畔公園	あつまれ！鳴子ダム	利用しやすい公園に	
		キャンプ場や運動場など各種広場	オートキャンプなど機能更新	
		ラジコンカーレース	冬季の活用(雪洞体験)	
禿高原町営牧場				
地域の水辺を活用する	江合川上流(鳴子ダム上流)	キャッチ&リリース(鳴子漁協)	釣り人へのサービス向上	
		発眼卵放流(鳴子漁協)		
		桜の植樹	江合川の環境整備(サイクリングロード整備など)	
	江合川源流の碑	地域をよく知る		
荒雄湖(ダム湖)		ダム湖・ダム堤体を眺望できるスポットの整備(湖西道路側からも)		

出典)第1回策定委員会資料など
水源地域の現状について

出典)第2回策定委員会資料
「産業活性化」「交流と連携」のとりまとめ

ソフト展開などの資源	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回グリーン・ツーリズムネットワークみやぎ鳴子大会 ・スローライフ週間「湯っくり湯ったり湯たかに」 ・交流人口拡大事業「Visit なるこ」 ・鳴子ツーリズム講座(講演会) ・交流の達人(宮城県企画部)板垣幸寿氏、向田晃氏 ・体験交流型観光セミナー ・大崎・最上・雄勝の地域おこしを考えるリレーシンポジウム ・食と観光シンポジウム ・スリーライン・ツイン・ホットスプリングス(宮城・山形観光推進協議会) ・農家ネット(地産地消)
------------	---

鳴子まちづくりの方針について

まちづくりの方針		「まちづくりに」いかせる資源		第1回策定委員会での意見
		地域の資源など	地域での活動など	
地域を学習する	地域をよく知り地域力を高める	鬼首カルデラ地形 放射環状に流れる江合川上流 鬼首基幹集落センター 鬼首中学校 荒雄川神社・主馬神社 鬼首番所跡・芭蕉句碑・大町桂月歌碑 山の神の石碑 鳴子ダム	鬼首神楽講演活動 江合川の水質調査 荒雄川神社祭典 石碑、鳥居の建立(なるこ未来創造会議) 鳴子ダム感謝の碑	地域に誇りをもつ 地域力の向上 地域をよく知る
	ダムと自然・農業の役割を認識する	鳴子ダム	鳴子ダム見学	ダム利水と下流の水田の関係
文化を育てる	鳴子町特有の温泉資源を活用する	温泉(宮沢・吹上・轟) 東鳴子温泉(川渡地区) 鳴子温泉(鳴子地区)	現代版湯治入門 温泉療養プラン 温泉客ら無農薬栽培体験	温泉と健康の関係をアピール グリーンツーリズム、温泉医療もキーワードに
	地域の食文化の創出	鬼首そば生産組合	蕎麦打ち体験	美味しい蕎麦など地域の食文化の向上
		鳴子の風	地発砲酒の生産・販売	
		江合川上流	鬼首の湧水 岩魚・山女など	
		鳴子町中央公民館(鳴子地区)	鳴子美食倶楽部、鳴子町温泉文化研究会	
	ダムを共有の資産ととらえPRする	鳴子ダム	ダム見学	ダムの役割を再認識 学校教育で展開
			すだれ放流	すだれ放流などのPR
			ダムアーチ構造	土木遺産に
			ダム展望台	ダム湖・ダム堤体を眺望できるスポットの整備(湖西道路側からも)
	環境を守る	水力や地熱発電などの環境を活用する	鬼首地熱発電所 鳴子発電所 片山地獄・地獄谷 間歇泉・吹上高原	地熱発電所PR館
豊かな自然環境の保全と森林資源の活用		自生山及び天然杉・巨木の森	あつまれ鳴子ダム! 巨木を営む森鳴子天杉	森林資源の再認識
		貴重な植物群落(片山地獄周辺など)		
		花淵山及び遊歩道・お花畑(シロヤシオ)		森林浴・トレッキングなどの環境整備
		オニコウバスキー場・ゴンドラ・ゴルフ場	大柴山トレッキング	
		花立峠・国見峠		
		荒雄岳及び外輪地形		自然林の復活
		ふるさと緑の道(鳴子温泉～鬼首)		
		ふるさと緑の道(鬼首～鎌内)		
農村環境や農村の景観を守る		鬼首地区など既存の地域や集落	スローライフ週間「湯っくり湯ったり湯たかに」	

出典) 第1回策定委員会資料など
水源地域の現状について

出典) 第2回策定委員会資料
「産業活性化」「交流と連携」のとりまとめ

鳴子まちづくりのキーマン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴子町中山間地域活性化推進協議会 ・ 鳴子ツーリズム研究会 ・ 鳴子未来創造会議 ・ 石ノ梅まちづくり研究会 ・ 鳴子楽郷の会 ・ 東鳴子夢会議 ・ 縄文集団「鬼」 ・ カムロ企画
--------------	---

ビジョンの目的

地域を **元気** にする

地域を **学習** する

地域の **文化** を育てる

地域の環境を **守る**

ビジョンの方針

地域づくりによる地域の活性化

業おこしによる地域の活性化

地域の施設を活用する（鬼首中学校等）

地域の環境を活用する（荒雄湖畔公園）

地域の水辺を活用する（江合川上流）

地域をよく知り地域力を高める

ダムと自然・農業の役割を認識する

鳴子町特有の温泉資源を活用する

地域の食文化の創出

ダムを共有の資産ととらえPRする

水力や地熱発電などの環境を活用する

豊かな自然環境の保全と森林資源の活用

農村環境や農村の景観を守る

ビジョンの展開

何をしていくか

誰がリーダーとなるか

誰と手を組んで進めていくか

いつ頃からはじめるか